



篠塚さんのウィッグブーケは2017ミスインターナショナル準ミス藤本(旧姓福井)千聖さんのウェディングにも華を添えた



一つのブーケが3通りに変身する「ウィッグブーケ」は、篠塚さんオリジナル商標登録が終わり、現在実用新案を申請中



1. 人生の転機となった息子さんの結婚式 2. インスタグラムのプレゼント企画で当選した方のウェディング 3. 4. お母様が娘さんのためにレッスンで作ったブーケ 5. 七五三のボールブーケ

ど、そうでない人のためにも、リーズナブルな多様性ブーケを提供したいと思っ
て始めました。」
今後はこのウィッグブーケを日本中の方
方に知ってもらえるよう、広める活動も
していきたいと考えているそうです。
また、コロナ禍で結婚式が延期や中止
になり辛い思いをしている花嫁さんを応
援したいという気持ちから、昨年11月に
は仲間のデザイナーとInstagramで
ブーケをプレゼントする企画をした篠塚
さん。生徒さんや花嫁さんを思う強い気
持ちは、新たなアイデアを次々と形にし
ていきます。

「造花は私に第二の人生を教えてくださいま
した。普通だったら家で孫の面倒を見て
いる歳。普通の主婦がそこから新しい事
を始める、そのエネルギーをわかせてく
れた造花ブーケに出会えた事に、本当に
ありがたく感じますね。」
生徒さんの声に誠実に耳を傾け、オリ
ジナルのアイデアを次々と形にし、技術
を磨くために学び続ける。お店の名前「パ
レルパレット」に込められた「パレッ
トにたくさん色が広がるように、お花
の輪が広がってほしい」という願いのと
おり、篠塚さんの作品でたくさん笑顔
の輪が広がっています。

80歳になってもブーケを作って
いたい

篠塚さんに、今後の夢について伺いま
した。

「80歳になってもブーケを作っていたい
なと思います。花嫁さんを思いながら
ブーケを作っている時が一番楽しい。結
婚式や七五三など、人生の大事な節目に
選んでもらって喜ばれると、これ以上
の幸せはないんじゃないかというくらい
うれしくなります。だから辞められませ
ん。」



利根町の文化センターや生涯学習センターで講師を務めることも。次回は文化センターで7月から講座が始まる。「町民の方が気軽に集える教室になってくれたら嬉しいです」



ご主人は少年野球チーム利根スターズで25年間指導していた篠塚繁美さん。家族の支えがあって今の仕事ができている



結婚情報誌ゼクシィに掲載された、篠塚さんのウィッグブーケを使ったご夫婦の特集ページ



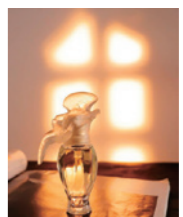
「57歳で新しい夢に出会え、61歳まだまだ夢の途中。学びの旅はしばらく続きそうです」

「作っている時に無心になれるし、何
より楽しかったんですよ。自分が一から
作ったブーケをお嫁さんが結婚式で持っ
てすごく輝いている姿を見て、ああ、こ
れって何か良いな。人に何かをして喜ん
でもらえる仕事っていいなって思っ
て、本格的に始めました。」
そう思った篠塚さんは、一カ月後に造
花ブーケのレッスンに通い始めます。

それまでのご主人の実家のガソリン
スタンドを手伝っていました。「軽トラッ
クで灯油の配達もしていました。感謝の
言葉をかけられると嬉しくて、20年近く
頑張りました。その時はまさか数年後に
自分がお花に囲まれて仕事をするよう
になるとは想像もしていませんでした。」
造花ブーケを始めたのは57歳の時。
アーティフィシャルインテリアブーケ協
会認定講師の資格も取った篠塚さんは、
技術にさらに磨きをかけるため、上級者
向けのレッスンを受けられる大阪へ通い
始めます。
金曜日の仕事後に飛行機で大阪まで向
かい、土曜の午前中からレッスンを受け
て、終わったら利根町に戻り月曜からま
た仕事という生活。とてもハードなスケ
ジュールのように思えますが、「好きな
事をやっているから、本当に楽しくて。」
と笑顔でその時の事を振り返ります。

生徒さんを思う気持ちから生ま
れたオリジナルのブーケ

ある生徒さんが娘さんのブーケを作り
に来た時のこと。白ブーケ一つを結婚式
と披露宴の両方で使いたいと聞き、篠塚
さんはウィッグブーケというオリジナル
のブーケを思い浮かべます。「ウィッグ
ブーケは、一つのブーケで形も色も変身
させることのできるブーケです。例えば
結婚式の時は真っ白い垂れ下がるデザイ
ンのブーケが、披露宴の時は下の部分
(ウィッグ)を外し向きを変えて、色の
違ったピンク系のブーケに変わる、とい
うもの。ブーケって、ドレスが決まっ
てから最後に予算内で決めますよね。お金
を出せば大きなブーケを何個も作れるけ



フォトレッスンの様子と篠塚さんが撮影した作品。現在は中級コースに通っている

現在はご自身の写真撮影のスキルを
アップさせるために、フォトレッスンに
通い、カメラの技術を磨いています。